



立川ひろとしからの手紙

立川ひろとしのシセイ（結城市政・政治姿勢）報告 2020.1.15 発行 No.2-6 発行：立川ひろとし後援会

〒307-0001 結城市結城(公達)9858-25 TEL 0296-33-5657 FAX 0296-54-4642 <http://tachikawa-hirotoshi.com> h_tachikawa@tacho-net.com



本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

日頃より、皆様におかれましては立川ひろとしの活動にご理解、ご支援を頂きまして有難うございます。

また、先の台風15号・19号の襲来により被災されました皆様に心からお見舞いを申し上げます。今回の台風襲来におきましては、私も消防団の皆さんと一緒に警戒対応にあたったり、近隣の避難所を訪問し状況把握を行う、また、自宅の冠水に備えて消防署から土のうを頂いて対策するなど、いろいろと考える事の多い機会となりました。



日頃の情報収取を
しっかりと！

結城市の被害状況についても別枠で掲載しますので、是非ご覧頂いて、皆様の災害対策にお役立て頂けたらと考えております。

新しい年を迎え、本年こそは災害の少ない、皆様にとって心すこやかに暮らせる1年となりますことを願いながら、私も議員活動にしっかりと取り組んでまいります。



今回の議会のポイントは？

今回の議会では年に1回の会派代表質問が行われ、会派として政策を執行部にうったえる機会がありました。特に、今回の会派代表質問は、新市長を迎えて初めて行われたこともありまして、市長の政策に関する質問が多かったと感じています。

一般質問においては、登壇したすべての議員が台風災害に関連した内容を取り上げるなど、関心の高さがうかがえました。

議案審査では補正予算、会計年度任用職員に関する規定、公共下水道事業の企業会計化、水道料金の改定など、重要案件が可決成立となりました。

また、市議会において公共施設（主に学校関連）の在り方について検討し提言を行うための特別委員会の設置が決まりました。



本年も皆様のご意見をお待ちしております！

幅広い世代の方々から、気軽にご意見を頂き、そして、迅速にお返事をしていきたいとの考えがありまして、今期からはご意見、ご要望をお受けする窓口を広く設ける事といたしました。

また、私が初めて市議会議員に当選した平成15年（2003年）当時とくらべて、SNSも普及し多くの方が利用されていることから、SNSをつかった情報発信もより一層活用したいと考えております。

もちろん、インターネット・SNSだけでなく本誌の配布も郵送・折込で継続してまいりますし、これまでのようなお電話・FAX・いろいろな機会にお声掛け頂いてのご意見・ご要望・ご相談もお待ちしております。



いろいろなお話をお聞かせ下さい



0296-33-5657



0296-54-4642（FAX専用回線）



h_tachikawa@tacho-net.com



<https://tachikawa-hirotoshi.com>（問い合わせページからどうぞ）



<https://www.facebook.com/Hirotoshi.Tachikawa>



https://Twitter.com/Tachikawa_Hiro



https://www.instagram.com/hiro_tachikawa/



LINE ID : yk-tckw-official



12月定例会でこのようなことが決まりました！皆さんに身近な話題をわかりやすく解説！その①

■ 令和元年度 結城市一般会計・特別会計・水道事業会計 補正予算

① 一般会計・2特別会計・水道事業会計 計 2億 478万 7,000円 を可決

② 主な内容は以下の通り

・ふるさと結城応援寄付記念品	196.9 万円
・財産管理事務経費（駅前分庁舎 電気代）	449.6 万円
・筑西広域市町村圏事務組合 議会総務費分布金	▲ 394.2 万円
・市庁舎建設事業 市庁舎付帯工事	3,550.0 万円
・障害者訓練等給付費	2,924.8 万円
・障害者訪問入浴サービス事業給付費	50.9 万円
・障害児支援事業 放課後等デイサービス費	811.8 万円
・生活保護 医療扶助費	3,613.8 万円
・県看護教育財団施設整備事業補助金	116.3 万円
・養育医療給付事業 扶助費	150.0 万円
・筑西広域市町村圏事務組合 清掃費分布金	227.3 万円
・豚コレラ侵入防止緊急対策事業費補助金	1,137.4 万円
・農業集落排水事業特別会計 繰出金	100.0 万円
・市道整備事業 物件移転補償費	1,312.0 万円
・筑西広域市町村圏事務組合 土木費分布金	150.3 万円
・公園樹木等管理委託料	100.0 万円
・筑西広域市町村圏事務組合 消防費分布金	▲ 3,665.0 万円
・入学祝品支給事業 新入学祝品	824.4 万円
・小学校空調設備整備工事費	266.5 万円
・中学校空調設備整備工事費	627.0 万円
・学校給食センター 修繕料	171.7 万円
・道路橋梁災害復旧費 （台風19号被害復旧 測量調査・道路復旧工事）	1,000.0 万円
・都市施設等災害復旧費 （台風19号被害復旧 才光寺グラウンド復旧工事）	1,500.0 万円
・【国民健康保険】一般被保険者高額療養費	3,300.0 万円
・【農業集落排水】施設修繕費	100.0 万円
・【水道事業会計】排水管布設工事費	800.0 万円

■ 会計年度任用職員制度の導入に関する条例改正

- ・令和2年4月1日の地方公務員法および地方自治体法の改正によって導入される制度で、従来の非正規職員（非常勤職員/臨時職員など）のほとんどが、この「会計年度任用職員」に移行する。
- ・会計年度任用職員は、就業時間が週38時間45分以上のフルタイム職員と週38時間45分未満のパートタイム職員に区分される。いずれも、従来の非正規職員にはなかった期末手当の支給や人事評価の導入、再任用の際の報酬の職級加算（いわゆる昇給）などが追加される。
- ・結城市でも本制度導入に伴う給与や費用弁償などの条例改正が行われた。

■ 結城市公共下水道事業を公営企業会計に移行

- ・総務省では、地方公共団体が公営企業の経営基盤の強化や財政マネジメントの向上に的確に取り組むため、民間企業と同様の公営企業会計を適用し、経営成績と財政状態を正確に把握することを推進しており、平成27年度から令和元年度までの5年間を「集中取組期間」として、適用していない公営企業に対し、公営企業会計へ移行することを要請している。
- ・適用される規定の範囲により、法規定の全部を適用する「全部適用」と、財務・会計に関する規定のみを適用する「財務適用」があるが、結城市では「全部適用」として令和2年4月1日から企業会計に移行。

●地方公営企業

日本の地方公共団体が経営する現業（官業）のうち、地方公営企業法の適用を受ける事業。地方自治体が経営し、法人格を持たないため社内カンパニーにあたり、一般会計（行政予算）とは切り離された特別会計での独立採算制を採る。

●企業会計

営利目的とする企業が経済活動の記録・計算・総括・報告にあたって継続的に適用する会計手続のこと。複式簿記を採用し、企業資本の投下・回収・再投下過程の計算的追跡を通じて、企業資本を計算的に維持した後の企業利益を期間的に算定することを中心課題としている。



12月定例会でこのようなことが決まりました！皆さんに身近な話題をわかりやすく解説！その②

■ 水道料金の改定について

- ・ 現行の料金体系を維持すると、運転資金として最低限確保しなければならない資金残高10億円を令和3年度には割り込み、令和8年には資金不足となることが試算され、健全な事業運営を継続するには料金改定による財源確保が必要とのことから平成29年～31年にかけて結城市水道審議会で検討
- ・ 今回の改正により下記を目的に平成32年度に15%の料金改定を実施し基本水量を廃止し口径別基本料金に移行（変更は以下の通り）

●変更前 料金体系

基本料金 (円)	口径別メーター使用料		従量料金 (円 / m³)				
	mm	(円)	1-10	11-20	21-50	51-200	201-
1,535	13	60	-	163	192	209	221
	20	110					
	25	200					
	40	300					
	50	1,000					
	75	1,500					
	100	2,000					



●変更後 料金体系

口径別基本料金		従量料金 (円 / m³)				
(mm)	(円)	1-10	11-20	21-50	51-200	201-
13	1,210	100	150	190	200	210
20	1,800					
25	3,790					
40	9,930					
50	16,020					
75	37,690					
100	68,770					

■ 新庁舎 関連 物品購入に関する契約に同意

- ・ 新庁舎建設に伴い市内3社から取得する家具等物品の購入に関する契約に同意
 - ① 新庁舎用 デスク・テーブル・椅子等 什器 一式 61,600,000 円
 - ② 新庁舎用 収納等 什器 一式 63,800,000 円
 - ③ 新庁舎用 待合・応接家具等 什器一式 59,180,000 円

■ 人権擁護推進委員の選任に同意

- ・ 人権擁護推進委員候補者 3名の方の選任に同意

長澤 章 さん (大字結城) 赤城 信之 さん (大字結城)

鶴見 節子 さん (大字北南茂呂)

■ 結城市選挙管理委員 及び 補充員の選挙

- ・ 結城市選挙管理委員 及び 補充員について議長の指名推薦により下記の方々を選任

●選挙管理委員

中山 英次 さん (大字下り松) 阿部 悦子 さん (大字上山川)

田中 重男 さん (大字粕礼) 松浦 修三 さん (大字大木)

●選挙管理委員 補充員

本橋 史代 さん (大字結城) 星野 博夫 さん (大字久保田)

深谷 恵 さん (大字芳賀崎) 舟橋 博 さん (大字七五三場)

■ 下水浄化センター改築更新工事委託の協定変更に同意 (減額)

- ・ 下水浄化センター改築更新工事 (平成30年度・令和元年度の2か年) の令和元年度分 事業費から 25,740,000 円を減額する協定変更に同意

※ 2年総額 288,800,000 円 ⇒ 263,060,000 円 に変更

■ 市議会に公共施設適正化調査特別委員会を設置

- ・ 市においても結城市公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設マネジメント (施設の安全性・必要性・維持に必要なコストなどを勘案し、公共施設の維持更新や縮小などの管理) を行っている
- ・ 市議会でも少子化における小中学校の状況の変化、これからの公共施設のあり方を調査検討し、提言していくために議員全員で構成する特別委員会を設置



台風19号 襲来における結城市の災害状況・災害対応状況についてお知らせします その①

台風19号における結城市の被害状況（令和元年11月5日 確定）について、令和元年11月21日 開催 市議会 全員協議会において資料配布とともに説明がありました。抜粋情報を掲載致しますので、皆さんの今後の災害対応や各地域での防災活動にお役立てください。

■ 被害状況

(1) 人的被害 なし

(2) 建物被害

① 住家被害

- ・半壊（床上浸水） 5件 5棟（小森 3・中 1・久保田 1）
- ・一部損壊（床下浸水） 2件 2棟（中 2）
- ・一部損壊（浸水以外） 1件 1棟（上山川 1）
- ・その他（雨漏り等） 5件 5棟（結城 2・東茂呂 1・久保田 1・粕礼 1）

② 非住家被害

- ・床上浸水 7件 12棟（中 1・久保田 3・上山川 3）
- ・床下浸水 1件 1棟（小森 1）
- ・その他 2件 2棟（結城 1・若宮 1）

③ 公共施設

- ・鬼怒商業高等学校（浸水） 4棟（校舎 2・体育館 1・武道場 1）
- ・鹿窪第2体育館（雨樋） 絹川多目的集会施設（調理室引き戸）
- ・健康増進センター事務所（ガラス）

(3) 車両 4台（宮の下 1・久保田 3）

(4) その他 久保田・才光寺県民運動公園（冠水・土砂堆積）

■ 人命救助の状況 1件2人（ボートによる救助）

■ 河川等の状況

- ・鬼怒川 最高水位 4.61m 10/13（日） 3:00 頃
- ・田川 十二天橋上流で越水 10/12（土） 21:40 頃
- ・西仁連川 善長寺橋ほかで越水 10/12（土） 17:00 頃
- ・新堀川 大木・新宿新田地内で越水 10/12（土） 23:00 頃
- ・山川沼 排水路 中橋付近で越水 10/13（日） 9:00 頃
- ・法定外水路 法面崩落 1ヶ所（約50m）

■ 道路の状況

- ・道路冠水等による通行止め箇所 15箇所
- ・側溝からの溢水、その他 7箇所
- ・応急復旧作業等の実施 12箇所
 - 土砂撤去、清掃等 8箇所（結城 1・絹川 1・上山川 1・江川 5）
 - 法面復旧、倒木処理 2箇所（上山川 1・山川 1）
- ・広範囲冠水（上山川～ 山王河川敷 市道約 2.7km）
- ・土のう運搬、ろえ 500袋（山王～ 市役所）
- ・土のう配布 22件/380袋 10/11（金）1～ 10/13（日）

■ 鉄道の状況

- ・水戸線の運休 10/12（土）13:59～ 10/14（月）8:55

■ 避難者状況

- ・総避難者数 428世帯/986人（内 福祉避難所6世帯/17人）
- ・各避難所の状況は以下の通り

避難場所	世帯数	受入人数	内 要支援者
結城小学校	42	85	17
結城西小学校	35	94	16
城南小学校	22	44	4
城西小学校	15	38	4
山川小学校	44	113	6
江川北小学校	18	35	5
江川南小学校	5	18	1
結城南中学校	19	63	7
かなくぼ総合体育館	222	479	37
健康増進センター	5	13	3
結城特別支援学校	1	4	1
合 計	428	986	101



台風19号 襲来における結城市の災害状況・災害対応状況についてお知らせします その②

■ 農作物の被害状況（冠水）

・被害面積 44.2ha 被害総額 207,547千円

作物名	被害面積(ha)	被害額(千円)	
白菜	37.2	181,724	山川 37.0ha 上山川 0.1ha 江川 0.1ha
ネギ	2.0	17,070	山川 1.4ha 上山川 0.6ha
そば	3.0	675	山川 3.0ha
キャベツ	1.0	3,878	山川 0.8ha 上山川 0.2ha
レタス	1.0	4,200	上山川 0.4ha 江川 0.6ha

・ハウス 2棟（江川・山川）

■ 災害対応と復旧

- ・結城市災害対策本部の設置を継続25日間 10/12（土）～ 11/5（火）
- ・災害救助法の適用（県内：結城市ほか22市町） 10/12（土）
- ・国交省ポンプ車2台を要請し、中及び上山川の排水を実施 10/13（日）
- ・ボランティア活動 中地内 1件 清掃等 10/15（火）7人、10/16日（水）6人
- ・床下消毒の実施 8箇所（中 3・小森 3・久保田 1・上山川 1）
- ・環境センター災害ごみ搬入量 （16,030kg）
- ・罹災証明書の発行 13件
- ・被災証明書の発行 5件

■ その他

- ・職員の動員 延べ346人 10/11（金）～ 10/14（月）
- ・常陸大宮市への給水支援 水道課職員 2名×6日間
10/13（日）～ 10/18（金） 御前山地区にて給水作業等を実施
- ・支援物資の提供（玄米30kg） （市社会福祉協議会受領）
- ・医療機関受診者無し （市医師会）
- ・ペットの避難 犬3頭 猫7匹 （市内動物病院2箇所の協力）

■ 関係機関との連携

- | | | |
|----------|--|---|
| 10/11（金） | 東電パワーグリッド（株）
エイヨウショク（株）
市内動物病院5箇所 | （停電時の対応）
（給食提供）
（避難者のペット対応） |
| 10/12（土） | 結城警察署・結城消防署
ケーブルTV
筑西広域消防本部
結城市水防団
陸上自衛隊第301ダンプ車両中隊
明電ファシリティー | （待機体制）
（広報協力）
（災害対策本部設置）
（待機体制）
（連絡員派遣）
（樋管操作確認） |
| 10/13（日） | 下館河川事務所
福井市
NTT東日本 | （排水ポンプ要請）
（被害状況問い合わせ）
（電話不通時の対応） |
| 10/15（火） | 刈谷市・長井市
久喜市 | （被害状況問い合わせ）
（報告） |

■ 消防団 活動状況

- | | |
|----------|---|
| 10/12（土） | 9:00 分団区域内 広報活動開始（～12:00）
17:00 分団区域内 警戒活動開始・以降詰所待機
23:20 鬼怒川沿い警鐘警戒開始（3・4・9・10分団） |
| 10/13（日） | 0:00 鬼怒川田川合流部警戒、通行規制箇所警備 3分団（～7:00）
中樋管及び内水警戒、通行規制箇所警備 4分団（～9:30）
鬼怒川沿い警戒 9分団（～4:20）
上山川樋管内水警戒、通行規制箇所警備 10分団（～9:00）
3:15 1・2・5・6・7・8分団 解散
13:00 鬼怒商体育館床下排水作業開始
本部・1・5・6分団（～17:35） |



台風19号 襲来における結城市の 災害状況・災害対応状況についてお知らせします その③

■ 消防署の活動状況

- 10/12（土） 8:00 消防長命により非番職員全員自宅待機
 14:00 災害用毛布貸出し(防災安全課へ74枚)
 15:30 警防要員の確保(南出張所へ特別招集命令)
 16:20 管理課長・消防課長 署長命により招集
 18:00 署長 結城市災害対策本部へ参画
 18:55 ポンプ隊 鬼怒川河川調査開始
 21:03 ポンプ隊 田川・西仁連川 河川調査開始
- 10/13（日） 0:00 救助隊 倒木除去(結城病院北)
 3:03 救助隊 中地内 危険物流出事案で出向後
 明和運輸付近で 3名取り残されているとの
 情報で転戦
 4:55 ポンプ隊 日混工業付近 浸水調査
 5:37 救助隊 ボートにて2名救出完了(1名鬼怒商業教諭は残る)
 6:00 南出張所 招集待機命令解除
 8:30 自宅待機命令解除



こんな場所での編集後記

今回は、紙面レイアウトの関係で、変な場所での編集後記となりましたことをご容赦ください。

今回は市民の皆さんに直結する内容が多かったこと、台風19号に関する情報では、災害情報に加えて、応援協定を結んでいる企業さん、結城消防署の皆さん、消防団の皆さん、市の職員さんなど多くの方々が、陰になり日向になり、大変な中で活動してくださったことをお伝えしたく紙面を割きました。

今後も、皆さんに直結する必要な情報を分かり易くお伝えすることに努めていきますので、どうぞよろしくお願い致します。



コラム：防災訓練を考える

皆さんもご存じのように、昨今の自然災害は、想定を超えるものが多くなりました。また、千葉県の事例のように、陸の孤島化していない地域でも台風通過後や天候回復後も、長期間にわたる停電・断水により、自宅での生活復旧が難しく、避難所生活をせざるを得ないという出来事もありました。

このような災害の多様化から、これまで直接的な災害が少なかった結城市でも他地域での甚大な被害に起因する長期間のインフラや物流の停止による、二次的な災害対応も考慮しておく必要があると考えております。

私は、9月議会で自主防災組織に関する一般質問を行い、自主防災組織の設置促進や、防災訓練を中央会場での訓練だけでなく、市内各地での避難所設営や情報伝達訓練が必要との意見を述べました。市においても同様の考え方を持っており、市の総合防災訓練の際に避難所設営訓練を組み込み、避難所と連携した訓練を行っています。

今回の台風19号襲来の際には、いくつかの避難所をまわって担当職員さんや実際に避難をした方からお話を聞いてみると、いろいろな課題もあることがわかりました。

避難所の様子を聞きたい方がどこに連絡してよいかわからず、学校の職員室に電話がきたこと（避難所となる体育館などに直接問い合わせの出来る形手段がなかった）、テレビなどの情報入手設備がなかったところもあったこと、そして、冷たい床にビニールシートと毛布といった環境であることです。

海外の避難所では、同じ体育館をつかって室内用簡易テントなどを活用して個々のプライベート空間を確保し、避難生活の質の向上に努めております。その一方、日本はこれだけ地震災害が多い国でありながら、災害初期の避難所環境は先進国でも高いレベルとは言えず、改善が進んでいないのが現状です。

また、大変難しい訓練かもしれませんが、市内一斉点呼訓練（例：訓練日当日、家にいた人がどのくらいいたかを集計してみる 等）も、ぜひやってほしいと考えております。災害当日、どのくらいの方が市内にいて、その方の怪我の状況、出勤・お出かけ等で別の地域にいて難を逃れた方、連絡のつかない方がどのくらいいるのか、という情報を確保することは、災害初期において、ごく一般的に実施される情報収集と考えています。

今後も、災害の多様化が考えられることから、セレモニー性の強い訓練から実際にやるべきことを繰り返し確認する方向に切り替えていくべきと考えます。

次回（令和2年4月 発行予定）の後援会報は、新聞折込での発行を予定しております！ぜひご覧ください！

前回（令和元年10月）新聞折込にて発行した後援会報も残部数があります！見逃した方やほしい方は是非お声掛けください！